

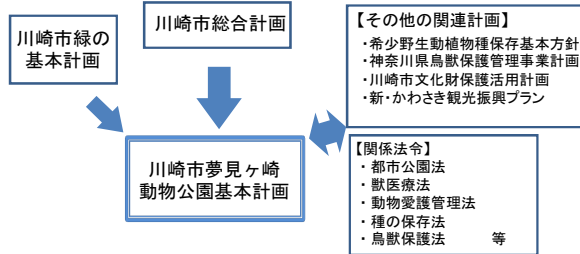
川崎市夢見ヶ崎動物公園基本計画 概要版

1. 計画の趣旨

■本計画は、夢見ヶ崎動物公園の今後のあり方について、期待される役割を踏まえ、多くの市民や企業など多様な主体と連携し、新たな地域コミュニティ形成とともに、魅力と賑わいを創出していくための基本方針及び取組の方向性を示すものです。

■本計画は、「川崎市総合計画」及び「川崎市緑の基本計画」の他に、種の保存、野生動物の保護及び加瀬山※の貴重な文化財の保全などに関連する計画とも整合を図りながら施策を推進するものです。

※「加瀬山」とは、夢見ヶ崎動物公園と民有地を含めた全体を指します。



■本計画の計画期間：平成30(2018)年度から平成39(2027)年度まで

2. 現状

■概要

- 公園種別：都市公園（地区公園）
- 経過：S25 夢見ヶ崎公園開設
S32 都市公園として公告
S49 公園内に動物園を設置
- 管理面積：約6.6ha
- 展示動物：64種類309点（H29.4.1現在）
- 入園料：無料

■利用状況

- 平成28年度来園者数：約30万人
- 利用者の約70%が川崎市民
- 30歳～49歳の利用が半数以上

■現在までの取組

- 飼育動物の展示、負傷野生動物の保護・受け入れ、サマースクール等の環境教育学習の実施
- 「動物園まつり」等のイベント開催（年4回）
- ボランティアによる花壇の整備や樹木の剪定、商店街や町内会での広報物の掲示などの協働の取組を実施
- サポーター制度の開始（サポーター数：5団体・43人）

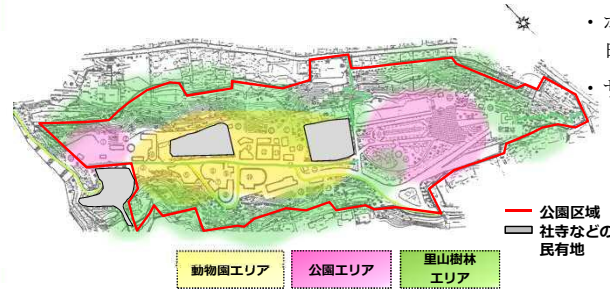


図 夢見ヶ崎動物公園 エリア構成



動物園まつり
(動物ガイドツアー)



サマースクール
(餅づくり実習)

■来園者アンケート結果 (平成28年2月～3月) 回答数617

- 動物公園の良いところ
1. 入園無料(88%)
 2. 広場や遊び場がある(47%)
 3. 年中無休(46%)

●設置・充実してほしい施設

1. 売店・自販機(45%)
2. 休憩室・授乳室(37%)
3. 動物展示(29%)

●動物公園でやってほしいこと

1. 動物にさわる(58%)
2. えさやり体験(51%)
3. バックヤードツアー(28%)

■第31回区民車座集会における 主な意見（平成29年12月3日）

1. 売店、飲食施設の設置
2. 歴史、文化を含めたPRの実施
3. 多様な主体との連携の充実

3. 課題

〈動物展示の魅力低下〉

①展示・飼育施設等の老朽化や動物展示における魅力の低下

- ・築30年以上経過した展示・飼育施設が多く、全体的な老朽化が進行している
- ・動物の生態に配慮していない旧来型の獣舎が多く、動物本来の行動を引き出せていない
- ・展示動物の高齢化や近親交配が進行している



小動物舎の囲いの破損



旧来型の獣舎（サル舎）

〈サービス水準の低下〉

②来園者が快適に利用することができる利便施設等の不足

- ・未舗装の広場や段差が生じている園路などにより、ベビーカーや車椅子の利用に支障が出ている
- ・休憩室や授乳室などの利便施設が不足している

③夢見ヶ崎動物公園全体の特色を活かした体験やふれあいができるプログラムの不足

- ・動物を通じた環境学習や、加瀬山が有する自然・歴史・文化などの特色を活かした体験・ふれあいプログラムが不足している

④飲食機能及び物販サービスの不足

- ・飲食施設の来園者ニーズがありながら、自動販売機以外での飲食の提供がない
- ・来園者が長時間滞在してもらえるようなサービスの提供が不足している



未舗装部の根上り



閉鎖している売店

〈多様な主体との連携と持続可能なマネジメントの確立〉

⑤多様な主体との連携の充実と持続性の確保

- ・連携する地域及び主体が限られているとともに、ボランティアの担い手が不足しつつある

⑥魅力的な情報の提供や多様な主体との連携による効果的な情報発信力の不足

- ・動物に愛着を感じるような魅力的な情報発信や、様々な主体と連携した効果的な情報発信が不足している

⑦調査・研究における最新の知識・技術の取得と活用の不足

- ・野生動物に関する専門的な知見を有する大学等との連携が不足している

⑧人材育成や新たな財源確保等を含めた持続可能なマネジメントの確立

- ・職員の専門的な知識や技術の習得機会が不足している
- ・運営や飼育業務を継続的にマネジメントする仕組みがない

4. 計画の構成

目指すべき将来像

わくわく、ふれあい、みんなで作る 動物公園

【基本コンセプト】

夢見ヶ崎動物公園の特色を活かしながら、地域コミュニティの核として、わくわくでき、いきものとふれあえる場を、多様な主体が活用することにより、魅力と賑わいのある持続可能な動物公園を目指します。

基本的な視点

基本方針と取組の方向性

わくわく

● 基本的な視点①

快適でわくわくする空間の創出

ふれあい

● 基本的な視点②

楽しみ、ふれあいたくなるようなコンテンツの充実

みんなで作る

● 基本的な視点③

みんなで作る協働の輪の構築

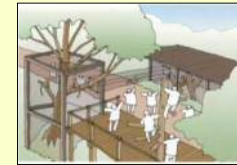
➤ 基本方針1 施設の計画的なリニューアルに合わせた展示の工夫や園内の利便性・快適性の向上

(1) わくわく感であふれた施設整備

- ・加瀬山の自然や起伏を活かした展示の工夫を取り入れた老朽化した獣舎等の更新・補修
- ・いきものとふれあえる場所の整備とふれあい動物の展示
- ・楽しく遊びながら森の大切さや歴史を知る遊具等の整備

(2) 安全で快適な園内環境の整備

- ・乳幼児から高齢者まで全ての来園者が快適に利用できる施設（休憩スペースや授乳室の設置及び園内舗装等）への改修
- ・主要動線における園内舗装・案内サインの設置による安全性・快適性の向上



自然環境を活かした展示（イメージ図）



動物ふれあいコーナー（浜松市動物園）



遊具等の整備（米フロンクス動物園）

➤ 基本方針2 夢見ヶ崎動物公園全体の特色を活かした体験やふれあいができるプログラムの充実

(3) 動物たちとの距離を身近に感じられるふれあいプログラムの実施

- ・動物ふれあいコーナー設置における動物ふれあいプログラムの実施
- ・動物ガイドツアーやバックヤードツアーの定期的実施



動物ふれあいプログラム

(4) 都心に残る身近な自然の中で、緑の保全の重要性や加瀬山の歴史を学ぶ体験型プログラムの実施

- ・バードウォッチングなどの自然観察会の開催
- ・ボランティア団体による加瀬山散策ガイドツアーの開催



野鳥観察会（川崎市青少年科学館）

(5) 子どもたちの知的好奇心を醸成させる命の教育や環境教育の実施

- ・好奇心をくすぐる校外学習の充実
- ・職業体験、インターンシップ、研修受け入れ時の教育プログラムの充実

➤ 基本方針3 夢見ヶ崎動物公園の魅力伝える効果的な情報発信力の強化

(6) インターネットやスマートフォンの普及に対応したSNSやICTを活用した夢見ヶ崎動物公園の情報やイベント情報の発信

- ・来園者に動物の個性をもっとよく知ってもらい、愛着を深められる情報の提供
- ・夢見ヶ崎動物公園の魅力が伝わるロゴ・キャッチコピー等の作成・活用によるブランドイメージの向上

(7) 様々な主体との連携による情報発信の充実

- ・公共交通機関や地元商店街、サポーターとの連携による情報発信
- ・市内北部で開催されるイベントを通じた広報活動



QRコードを活用した動物展示ガイド（天王寺動物園 出典「THE PAGE」）



公共交通機関との連携した情報発信（夢見ヶ崎動物公園応援バス）

➤ 基本方針4 多様な主体との連携の充実による賑わいの創出や、収益性の向上に向けた取組及び持続可能なマネジメントの構築

(8) 多様な主体との連携による取組の充実

- ・サポーターや夢見ヶ崎動物公園に関する様々な地域団体や企業におけるネットワーク形成の推進
- ・民間活力導入も含めた飲食・物販サービスの提供
- ・区役所や民間団体、地域活動団体等と連携した夢見ヶ崎動物公園の特色を活かしたイベントの推進

(9) 他都市動物園、NPO、大学及び動物専門学校との連携による種の保存等の推進

- ・他都市動物園との動物交換等の連携による展示動物の確保や繁殖の推進
- ・大学及び動物専門学校との連携による調査・研究の取組の推進

(10) 持続可能なマネジメントの仕組みの構築

- ・持続可能なマネジメントの仕組みの検討（民活導入の検討を含む）と取組の推進
- ・ネーミングライツや駐車場の有料化等による財源確保の取組の推進

(11) 人材育成による職員の飼育技術の習得・継承、接遇の向上

- ・専門機関や動物園への派遣研修の充実
- ・職員のおもてなし意識の向上、ホスピタリティの醸成

5. 今後の取組

基本方針	短期 H30～H33 (2018～2021) 年度	中期 H34～H37 (2022～2025) 年度	長期 H38～ (2026) 年度
基本方針1	再整備に向けた検討 民間導入に向けた検討(基本方針4)	検討結果を踏まえた取組の推進	
基本方針2	動物に関するプログラム・イベントの充実（ふれあいイベント等）		
	自然や歴史を活かしたプログラムの推進		
基本方針3	SNSの活用など様々な媒体を活用した情報発信の推進		
	様々な主体（商店街、交通機関等）との連携による情報発信		
基本方針4	多様な主体との連携による取組の充実 等		
	持続可能なマネジメントの仕組みの検討(民活導入の検討を含む)	持続可能なマネジメントの取組の推進	